

オゼンピックの糖尿病改善度、 体重減少効果について

ノボ ノルディスク ファーマはこのほど、同社が開発した週1回投与のGLP-1受容体作動薬「セマグルチド」（製品名・オゼンピック皮下注）のHbA1cの改善度、体重減少効果について他剤を有意に上回る結果が示唆されたと発表しました。



日本人の2型糖尿病患者に対するHbA1cのベースラインからの低下率は、セマグルチドの0.5ミリグラム製剤が2.0%、同1.0ミリグラム製剤が2.29%。リラグルチド0.9ミリグラム製剤（1.19%）やデュラグルチド0.75ミリグラム製剤（1.39%）を上回る改善データでありました。



体重減少効果は、セマグルチドの0・5ミリグラム製剤が1・62キログラム、同1・0ミリグラム製剤が3・37キログラムで、リラグルチドとデュラグルチドを有意に上回る減少効果が示されました。低血糖の発現頻度については有意差はありませんでした。

